

# 共生社会の実現に向けて vol.6

## ◆自然との共生

共生社会を考える際、自然との共生も重要です。第6期音更町総合計画（令和3～12年）の5つの基本目標の1つに「都市と自然が共生する持続可能な住みたいまち」があり、「自然と人間の共生」を位置付けています。

「自然と人間の共生」のためには、多様な生き物とそれらを含む環境全体としての生態系の安定が必要です。

人間はこれまでさまざまな自然の恵みを利用し、豊かな社会を築いてきました。しかし、農地や都市などへの土地利用の転換、水や空気・化石燃料などの無生物資源の消費、汚染物質の放出、

また、森林や海洋などの生物資源の利用など人間の活動が生態系の復元力を超えたり、その維持・管理が不適切な場合、生態系の劣化や破壊だけでなく、人間の存続基盤を危うくします。

人間の活動が生態系を大規模に改変することを認識し、その活動をコントロールして生態系を守る。つまり、人間が自然と共生しなければ、社会の持続可能性は損なわれます。

障がいなどさまざまな生きづらさを抱えた人たちや異なった文化や価値観、経済的立場の人たちが共に生きていける社会をつくとともに、自然との共生を実現しなければなりません。

**問合先** 役場企画課企画調整係（内線213）